



喉もと過ぎて、熱さ忘れずに

運動会がいよいよ間近に迫り、子どもたちは連日最後の仕上げに励んでいます。これからは風邪を引いたり大きなけがをしたりせず、みんな元気に本番を迎えてほしいと願うばかりです。新型コロナウイルスの感染対策として、保護者、ご家族の皆様にはいろいろとお願いをしていますが、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

さて、その新型コロナウイルス。感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が、今月末をもって全面解除されることになりました。ひとまず喜ばたいと思います。若い世代を含め、皆様の努力のおかげです。

しかし、新型コロナは収束したわけでは決してありません。感染に歯止めがきかなかった夏の頃に比べて少し落ち着いてきたというだけのことです。

県全体及び本市の感染者数の推移を見てみましょう。昨年8月から園独自に記録を蓄積してきたものを1週間ごとに合計してグラフにしてみました。

これを見てお分かりのように、緊急事態宣言等が解除されたからといっても、昨年の今頃に比べたら感染者数は断然多いのです。

今年度の運動会はレベル2、ステージⅡの状況で行いますが、昨年度の運動会の時とは言う、レベル1、ステージ1でした。当然運動会での感染対策は、昨年度より強化せざるを得ません。

40℃近くの高熱が出た後に、38℃まで下がった時、なぜかとても楽に感じます。一瞬回復したように感じますが、本当はまだ治ったとは言えません。今のコロナの状況も全く同じです。40℃の時期は一旦越えましたが、まだ熱は高い状態だと自覚しないといけないのではないのでしょうか。

「喉もと過ぎれば熱さ忘れる」。いえ、決して忘れてはいけません。ワクチン接種ができない本園の園

児も含め、12歳未満の子どもたちは、今なお危険にさらされているわけですから。引き続きマスクの着用、こまめな手洗い、健康観察表への記録、リスクの高い行動の自粛等、子どもたちをコロナから守るためにも、これまでと変わらぬ感染対策をお願いします。（園長 寺本 明生）

